

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)9105
担当部課名	消防本部	消防総務	課	総務企画
事務事業名	消防団共済組合補助金		事業コード	23130

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざして	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強い街づくり	~63
施策名	第3施策	消防力の強化	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則第4条

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
消防団員の公務災害等における相互扶助と福利の増進をもって消防精神の高揚の実をあげることが目的とする。		消防団員	
		対象数	719名
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
体育事業として団運動会、文化事業として出初式団体演技、助成事業として消防団福祉共済掛け金の半額を補助、保険事業として健康診断、その他規約に基づき各事業を実施することができた。		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
計画年次	年度~	年度	

## 4 評価指標

指標名	各分団等の執行率		
指標式	$\frac{\text{各分団等への交付金}}{\text{執行金額}} \times 100$ = 交付金執行率		
指標設定の意図	執行率を基に各分団等の運営の状況を知る。		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a	b	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	2,160	2,160	2,249	2,249	2,478
	人員・時間数	279H	279H	279H	279H	279H
	人件費	1,167	1,167	1,167	1,167	1,167
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	3,327	3,327	3,416	3,416	3,645
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	共済組合の各事業について十分達成できた。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	消防団員の健康の増進と組合員相互の親睦を図り、共済組合事業の円滑な運営に努めるためにも必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	消防団員の健康増進、慰安及び団員相互の親睦を図り、公務災害等における相互扶助と福利の増進をもって消防精神の高揚の実をあげる目的達成のためにも必要である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	事業の円滑な運営を図る上から、現状の運営が好ましい。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	常備消防と共に災害活動や予防啓発活動を行っているが、一部の市民の中には消防団の活動を理解していない現状や団に対する協力者がいない等、市民全般に消防団活動を周知するため市民へのPR等を積極的に行っていく。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	公務災害等における相互扶助を行うことにより、広範囲になってきた消防団活動を行っていくためには必要であり、また有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 怪我等の補償や運動会等各種事業を行い福利の増進を図り、団員不足を解消し消防団活動の充実を図る必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 市民ニーズにあった消防団活動を行うため、団員相互の親睦と公務災害等の相互扶助に係る補助金は必要不可欠である。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	消防団の活動が災害防ぎだけでなく市民への予防啓発活動や防災訓練指導等、平常時での活動を充実させ、市民の安全を常備消防と共に守るための活動を行う団員の公務災害補償における相互扶助や団員相互の親睦を図るための共済事業は必要不可欠である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--